

大阪代協がオリエンテーション開催

組織や活動内容など説明

新入会員10名が参加

大阪代協(黒石光寿会長)は4月22日午後2時15分から同代協会議室で新入会員オリエンテーションを開き、新入会員10名を含め28名が参加した。



熱心に耳を傾ける新入会員

まず黒石会長が挨拶に立ち、「大阪代協は54年の歴史があります。保険契約者の利益保護、健全な募集環境作り、代理店の資質の向上、地域社会への貢献に努めています。こうした活動を通じてお客様や地域に専業代理店の重要性を認識していただいています。新入会員のみなさんが活動に参加してもらえよう、今日はその入口として話を聞いていただきたい」と述べた。

参加者の自己紹介のあと、嶋康仁副会長が大阪代協の活動として、組織や取り組みの内容、各種委員会、損害保険大学課程、代理店賠償などについて説明。

休憩をはさみ黒石会長は全国損害保険代理業政治連盟について、日本代協・小出富晴副会長は日本代協の取り組みについてそれぞれ話をした。

また、山中昭平相談役からは代理店事務処理の歴史について体験談などを交えて話した。最後に諏訪年信専務理事・広報室長が「これから一緒に頑張っていきましょう」と挨拶し、閉会した。